



やさしさを生命保険にかえて

アイリオ生命

アイリオ生命保険株式会社

@WARPソリューション、TRILLIUMとASTERIA WARPの連携により契約データ90万件を名寄せし、新旧システム共存を実現

9つ以上のシステムを連携し短期間でITシステム構築、開発コストは80%削減!

エキスパートアライアンスの生命共済事業を承継し、2008年8月に任意共済から初めて生命保険会社として誕生したアイリオ生命。共済契約者のデータと生命保険の新規契約者データの名寄せと住所クレンジングのため、Trillium Software社の「TRILLIUM」を導入した。さらに、インフォテリアのEAIツール「ASTERIA WARP」を採用し、新旧システムのデータ形式の違いを吸収、スムーズな連携を実現している。またASTERIA WARPはハブとして、新システムと他システムとの多彩な連携に活用されている。



アイリオ生命HP



アイリオ生命保険株式会社
情報システム本部副部長
兼 IT企画部長

田中 里枝氏
たなか りえ



アイリオ生命保険株式会社
IT運用部長

大岩 政博氏
おおいわ まさひろ



エキスパートグループ
ホールディングス株式会社
ビジネスディベロップメント
IT担当

水町 哲也氏
みずまち てつや

生命保険会社移行のため ITシステムを再構築 納期とコストの圧縮が課題に

アイリオ生命の前身であるエキスパートアライアンスは、ロードサービス事業を行い、会員とその家族向けの共済事業も行なっていた。2006年の保険業法改正を受け、2008年8月1日に生命保険業免許を取得。エキスパートアライアンスより生命共済事業を承継し、アイリオ生命は誕生した。共済時代も社会環境の変化に応じたIT投資を行っていたが、生命保険会社化にあたり、より強固なセキュリティや高い可用性を考慮したIT環境を構築する必要に迫られた。グループ企業のIT管理に携わるエキスパートグループホールディングスの水町哲也氏は「事業免許取得の前年、保険会社化を見据えた新システム構築の検討が開始されました。ITの整備は保険会社として重要な位置を占め、1年強という短期間での新システム構築は大きな挑戦でした」と、当時のプレッシャーを語る。エキスパートアライアンスから引き継ぐ共済契約だけでも約90万件のデータがあり、そのデータの取り扱いが短期間でのシステム構築のカギだった。

早く確実なデータ整合性確保のため 名寄せパッケージ「TRILLIUM」を導入

新たに構築するシステムと旧システムとの契

約者データ統合が、大きなポイントだった。「新旧のシステムではデータ構造はもちろん、ベースとなるOSも文字コードも別の体系が採用されています」とアイリオ生命の大岩政博氏が語る通り、単純な移行では対応できない。統合ではなく、新旧のシステムを共存させた上でデータを連携させる方針となったが、今度はデータ整合性という新たな課題が持ち上がった。「共済既契約者がアイリオ生命の生命保険に新たに加入した場合、その契約者を共済の既契約者と同一だとシステムが認識するために、双方の名寄せの仕組みが必要でした」と、水町氏は語る。契約者データの重複を避け、住所データのクレンジングも行えるシステムとして候補に上がったのがTrillium Software社の「TRILLIUM」だ。世界中で活用されているうえ、日本語版には住所、姓名、企業名などアグレックスが持つ日本語処理ノウハウがつぎこまれており、確実な名寄せが可能だ。パッケージソフトなので短期間で導入でき、独自開発に比べて開発期間もコストも圧縮できる。

約90万件の契約データを 新旧システムで共存し データ品質が大きく向上

構造も文字コードも異なるデータをひとつのアプリケーションで取り扱うのは容易ではない。「一度きりのデータ統合ではなく、稼働開始後も契約毎に新規契約者の情報と既契約者データとで重複チェックを行わなければならない

●CORPORATE DATA

アイリオ生命保険株式会社

2008年8月1日、生命保険業免許を取得。同年8月15日付でエキスパートアライアンスの生命共済事業を承継。承継した生命共済を保全すると共に、シンプルでわかりやすい保障内容の6つの生命保険商品を代理店チャネルで販売。「生命保険の原点へ」を理念とし、共済時代から培われた経験を基に、新しい企業として挑戦する姿勢が業界に新風を吹き込んでいる。

本社所在地 ● 東京都港区台場2-3-1
トレードピアお台場20F

URL ● <http://www.airio.co.jp>



ので、体系的な対応が必要でした」と、水町氏は当時の「要件」を語る。それを実現したのが、ASTERIA WARPだった。GUIベースの開発環境により、システム連携に必要な工期も短い。決められた期間内でのシステム構築のためにデータ連携という手法を選択したアイリオ生命にとって、TRILLIUMとASTERIA WARPは最善の組み合わせだった。

新システムが稼働を開始した2008年4月には、旧システムが持つ共済契約データ約90万件が名寄せ処理された。その後も新規契約者のデータをTRILLIUMに送り、既契約者との重複チェックや住所データのクレンジングが行われており運用もスムーズだと言う。水町氏は「スキルが高いたけではなく、こちらの要望に適切に伝えてくれ、強いパートナーシップを発揮してくれました」と、アグレックスを評価している。また、ASTERIA WARPの使い勝手については「アイコンで構成され、処理内容がわかりやすいのがいいですね」と、アイリオ生命の田中里枝氏も満足している。どのような処理が行われているのか視覚的に把握しやすいことが日々の運用に安心感をもたらしているようだ。

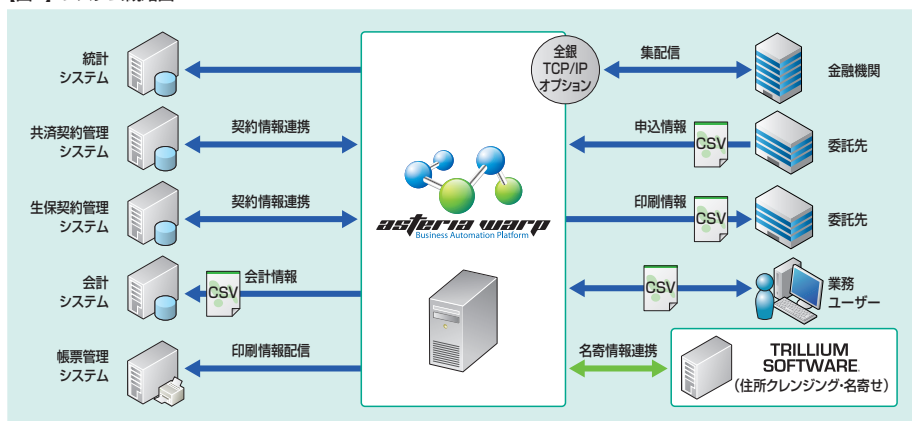


**80%の開発コストダウンを
ASTERIA WARPで実現!**

更に、帳票管理や会計など、関連する9つのシステムと生命保険契約管理システムとの連携にも、ASTERIA WARPが使われた。「新システムと周辺システムをつなぐ、データ変換ハブの

ような仕組みがほしいと考えていたので、アグレックスさんからのご提案はまさに要望通りだったのです」と、水町氏は語る。「ASTERIAの機能を使えばGUIで開発を進められるので、9つのシステムと生命保険業務の基幹システムを連携させるのに動員したエンジニアは3~4人、期間も3ヵ月しかかかりませんでした」と大岩氏は言い、「ASTERIA WARPの導入によって短期間で開発できたうえ、通常の20%程度のコストに抑えられました」と続けた。

【図1】システム概略図



**ASTERIA DataCasterの併用で
契約者データ送受信を自動化
セキュリティも向上する**

また同社は、委託先とのデータ連携においてASTERIA DataCasterの採用も決定している。保険加入者データには個人の機微情報が多く含まれ、データの送受信には高いセキュリティが求められる。「電子証明書を利用して暗号化し、手動でデータを送受信しており、大きな業務負担になっています」と、水町氏は課題を語る。ASTERIA WARPとASTERIA DataCasterを併用して作業を自動化すれば、人的作業に伴う送信ミスや情報漏洩の心配はなくなり、常に一定のセキュリティレベルも確保される。「製品の選択時はブランドだけを妄信せず、ビジネスニーズに当てはまるものを見極め、信頼できるものを採用していく」と語る水町氏が2製品を選んだことこそが、ASTERIAブランドへの信頼の厚さを物語っているようだ。

@warp わたしたちは
つながります

@WARP (アットワーブ)とは、インフォテリアのデータ連携ミドルウェア「ASTERIA WARP」を介し、さまざまな企業向けパッケージソフトウェアの連携を推進するプロダクトアライアンスです。

TRILLIUM

TRILLIUM SOFTWARE
A division of Harte-Hanks

日本をはじめ、世界で豊富な導入実績を持つデータクレンジング、名寄せツールのデファクトスタンダード。住所、姓名、法人名等の各種辞書を用いた高精度なデータクレンジング機能により、表記の違いを解消して確実な名寄せを実現する。

※TRILLIUMは、@WARPプロダクトアライアンスの製品です。

infoteria
インフォテリア株式会社

〒140-0014 東京都品川区大井1丁目47番1号NTビル10F
TEL. 03-5718-1250 FAX. 03-5718-1261
E-Mail. sales@infoteria.co.jp
URL. <http://www.infoteria.com/>

このカタログに記載された情報は2009年8月現在のものです。内容は予告なしに変更することがあります。
©2009 Infoteria Corporation All Rights Reserved.
Infoteria, インフォテリア, ASTERIAは、インフォテリア株式会社の登録商標です。
その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

お問合せ先：